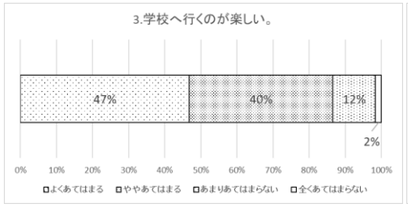
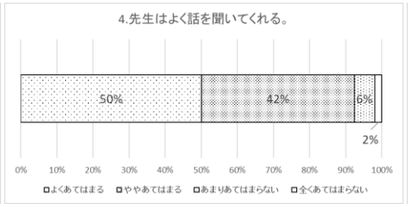
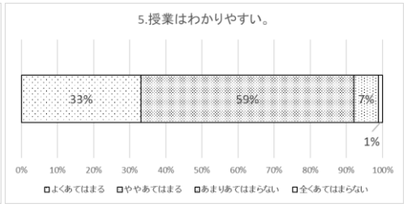
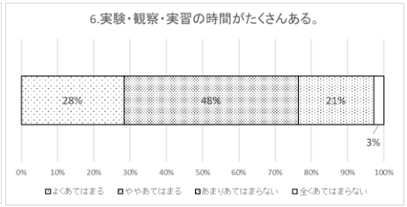
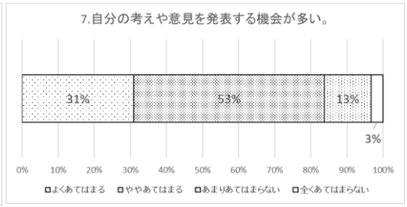
令和６年度 学校教育自己診断（生徒）結果 （回答率86%）

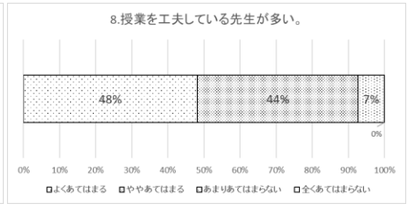


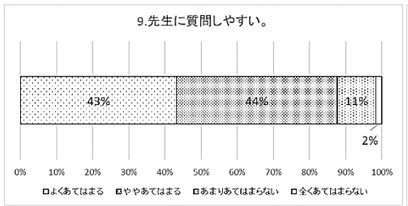


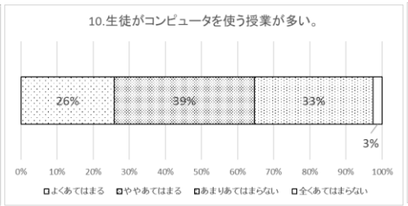


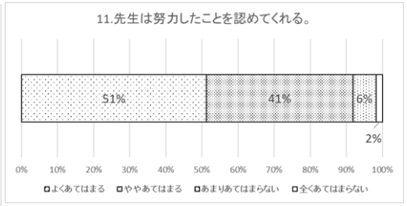


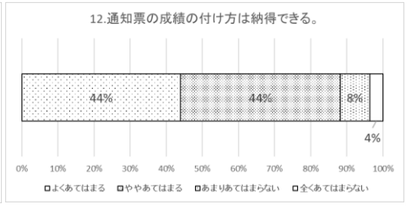


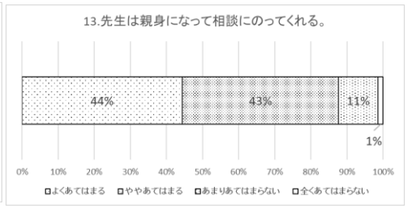


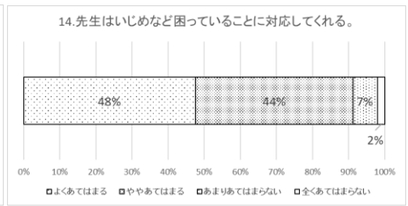


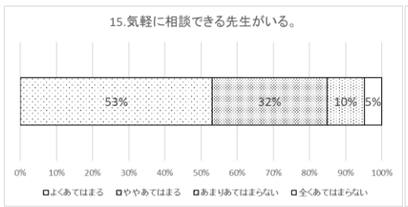


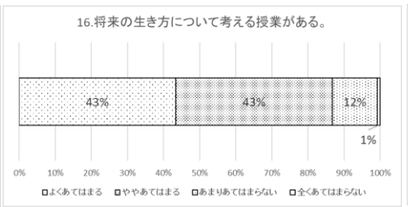


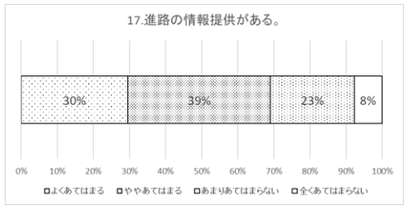


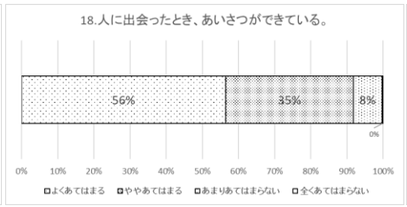


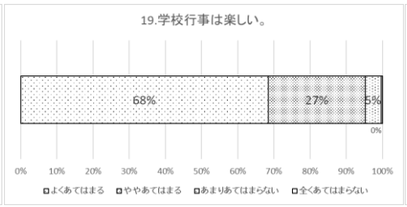


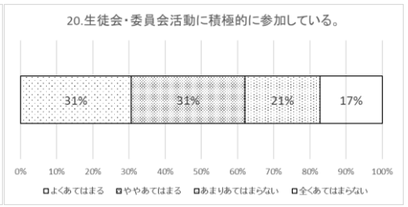


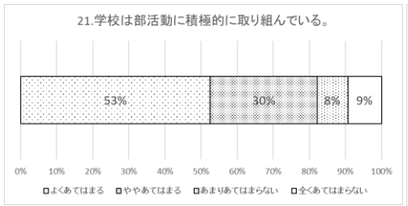


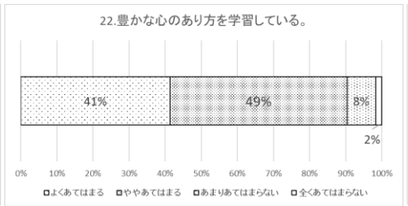


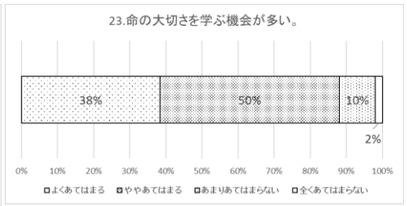


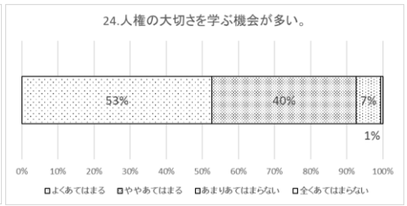


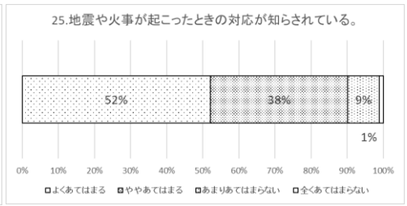


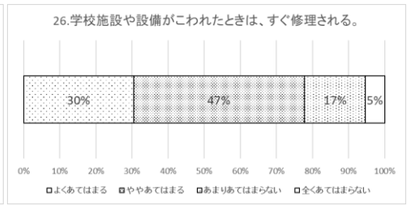


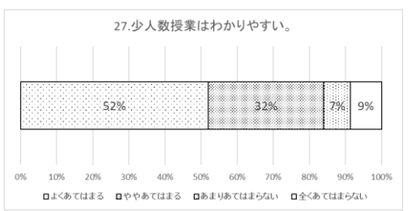












肯定的評価90%以上の項目	R6 年	R5 年	R4 年
学校行事は楽しい	95	93	92
人権の大切さを学ぶ機会が多い	93	95	91
授業を工夫している先生が多い。	93	90	91
人に出会ったとき、あいさつができている	92	94	91
先生は努力したことを認めてくれる	92	91	93
授業はわかりやすい	92	91	84
先生はよく話を聞いてくれる。	92	90	90
先生はいじめなど困っていることに対応してくれる。	91	84	88
地震や火事が起こったときの対応が知らされている。	90	87	90
豊かな心のあり方を学習している。	90	87	84

肯定的評価70%未満の項目	R6 年	R5 年	R4 年
生徒会・委員会活動に積極的に参加している	62	66	62
生徒がコンピュータを使う授業が多い。	65	71	72
進路の情報提供がある。	69	76	67

昨年に比べ、肯定的評価90%以上の項目が3項目増えました。「先生は努力したことを認めてくれる」という項目を始め、生徒と教職員の良好な関係がうかがえます。本校の特徴である人権教育の取り組みに対し、生徒自身もその大切さを実感しながら学校生活を過ごしているようです。また、きちんと挨拶ができたり、行事を楽しんだり、授業の内容をしっかりと聞いてわかろうとしたりする二中の生徒像は変わっていないことがわかります。

今回新たに肯定的な回答が90%を超えた項目に「地震や火事が起こった時の対応が知らされている」がありました。地震や火災、不審者の侵入を想定した避難訓練を毎年行ってはいますが、年初の地震などの影響もあり、より避難訓練への意識が高まったように思います。今後も引き続き、生徒たちが安全に安心して過ごせる環境整備に取り組んでいきます。

一方で、肯定的評価70%未満の項目に関しては、いずれも昨年度より低い結果となりました。生徒会は校則の見直しに向けて取り組んでいたり、総合的な学習の時間ではプレゼンテーションの資料作りや校外学習のプラン作りに生徒端末を使用していたりはするのですが、いずれも生徒の実感にはつながっていないことがうかがえました。生徒たちが充実した学校生活を送れるように様々な教育活動の場面において、生徒自身が主体的に行動し、達成感が得られるような取り組みをさらに進めていきます。